

# 2022年度米海軍佐世保基地内大学就学者募集

米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会では国際性豊かな人材育成を図るため、米海軍佐世保基地内大学への日本人就学希望者を募集いたします。

## 1. 米海軍佐世保基地内大学とは

米海軍佐世保基地所属の軍人や軍属の方、及びその家族に大学教育を受ける機会を与えるための高等教育プログラムを指しており、現在、佐世保基地では「メリーランド大学」と提携し、日本人の就学希望者を受け入れています。

⑨大学として独立したキャンパスは同基地にありません。基地の施設である、コミュニティー・エデュケーション・センター内に大学の事務所や講座室などがあります。

## 2. 募集内容

### メリーランド大学 - University of Maryland Global Campus

ブリッジ・プログラム（入学準備コース - 通学制）	9名以上
ブリッジ・プログラム（入学準備コース - オンラインによる通信制）	9名以上
正規入学コース（学部課程 - 準学士・学士、大学院課程 - 修士）	若干名

- メリーランド州アデルファイに本部がある通信制教育に特化した州立大学で、日本国内の米軍基地に置かれる分校は同大学のアジア地区の所属です。
- 授業は全て英語で行われており、取得する学位はアメリカの学位です。
- 入学準備コースのブリッジ・プログラムとは、英語が母国語ではない人向けの英語力向上を目的とした学位がつかないプログラム（ESL - English as a Second Language）で、1年間で5つの必須講座を落第なく修了すると、英語の資格の有無に関わらず正規入学コースに進むことができます。（13～14ページ参照）。
- 正規入学コースの学位課程について、準学士は短期大学、学士は4年制大学、修士は大学院に相当します。

⑨ - 入学準備コース（ブリッジ・プログラム）は、大学が実施条件として最少実施人数を定めています。当就学実行委員会事務局を通して応募する方以外の参加者を含めた受講者数が最少実施人数に満たない場合、本年度のプログラムの実施が見送られることがあり、その場合は、翌年以降に同プログラムの実施が決まった際に、ご参加いただくこととなりますので、予めご了承ください。

### 3. 入学金及び学費

コース	学位およびプログラム	学位取得に必要な単位数	入学金	1講座の授業料	参考-1単位当たりの授業料
入学準備	ブリッジ・プログラム	学位なし (※)	50ドル	735ドル	-
正規入学 (学部課程)	準学士	60単位以上	50ドル	735ドル (3単位の講座の場合)	(245ドル)
	学士	120単位以上			
正規入学 (大学院課程)	修士(MBA)	36単位以上	50ドル	1,974ドル (6単位の講座の場合)	(329ドル)

(2021年度)

- 上記の金額は2021年度の授業料です。アメリカでは教育年度が8月に変わり、その時期に合わせて授業料の見直しが行われるため、2022年度(2022年8月以降)の授業料は上記の金額から変更される場合があります。
- 1つの講座は1学期で修了して単位が付きます。
- 受講する講座は1学期ごとに登録手続きをします。(半年や1年単位での登録ではありません。)
- 学費はアメリカドル建て、支払いはクレジットカード決済で、それぞれの学期の受講開始前に支払い手続きをします。(複数学期分のまとめ払いではありません。)
- 授業料に教科書代が含まれています。
- 入学準備コースのブリッジ・プログラムは全部で6つの講座(5つの必須と1つのオプション)で構成されていて、1講座当たりの授業料は正規入学コースの3単位の講座と同額であり、プログラムを通して掛かる授業料は1講座当たりの授業料に受講する講座数(必須5+オプション1)を掛けて算出します。  
④通学制と通信制の授業料は同額です。
- 学部課程の殆どの講座の単位数は3単位ですが、3単位ではない場合は、その講座の単位数に1単位当たりの授業料の金額を掛けて計算します。

### 4. 応募資格

以下の①~③の条件を全て満たす方です。

- ① 18歳以上の日本国籍を有する方
- ② 長崎県内に住民票の住所がある方
- ③ 希望のコースや課程で必要とされる学力や英語の資格の条件を満たしている方  
(次ページ参照)

## 【入学に必要な学力の条件と英語の資格】

コース		入学準備	正規入学	
		ブリッジ・プログラム	学部課程 (準学士・学士)	大学院課程 (修士-MBA)
入学に必要な学力の条件		高等学校卒業または同等の学力がある方		4年制大学卒業以上
英語の資格 (いずれか1つ)	TOEFL iBT	45点以上	71点以上	79点以上
	IELTS	4.0点以上	6.0点以上	6.5点以上
	英検	2級以上	準1級以上	
	TOEFL ITP	450点以上	-	
	TOEIC Listening & Reading Speaking & Writing	Listening 275点 Reading 275点 Speaking 120点 Writing 120点	4技能全部 の条件を 満たして いる事	
	Duolingo English Test	75点以上	95点以上	105点以上
英語の資格の有効期限		取得から5年以内		取得から2年以内

- 入学準備コース（ブリッジ・プログラム）と正規入学コースの学部課程への応募に必要な学力において、『高等学校卒業と同等』とは、日本国内なら「大学入学資格検定」や「高等学校卒業程度認定試験」の資格取得者などを指します。日本以外の国や地域の高等学校の卒業資格でも事前に大学側に受け入れの可否の確認をすることで応募可能な場合がありますが、確認に日数が掛かるため、該当者は早めにお問い合わせください。
- 大学院課程への応募では卒業した4年制大学の国や地域は問われません。
- 英語の資格は大学側が定めている有効期限内を過ぎていないことが条件です。

入学準備コース（ブリッジ・プログラム） - 5年以内	2017（平成29）年10月以降に取得
正規入学コース（両課程共通）- 2年以内	2020（令和2年）年10月以降に取得

- 「アメリカや同国と同じ教育システムの高等学校を卒業」あるいは「アメリカや同国と同じ教育システムの短期大学や4年制大学での就学経験者」である方は、英語の資格が免除となる場合があります。応募書類を提出される前に資格免除に該当することを大学に確認する必要があるため、まずは当就学実行委員会事務局までお尋ねください。

### 【これから英語の資格試験を受験される方について】

応募時点で「入学に必要な英語の資格」のいずれか1つを保持している必要がありますが、本年度の応募受付期間内にいずれかの試験を受験される方については応募の『仮受付』を行い、試験の結果、応募条件を満たした場合に本年度の選考の対象といたします。

※英語の資格の詳細については、『補足資料①英語の資格に関する説明』（8～12ページ）  
 でご確認ください。

## 5. 応募手続き

募集期間内に下記の提出書類を揃えて、佐世保市役所文化国際課内「米海軍佐世保  
 基地内大学就学実行委員会事務局」に提出してください。

提出書類	入学準備	正規入学
① 入学願書（第1号様式） - 撮影から3か月以内の証明写真（パスポート申請用）を貼付する - 「本籍」と「現住所」は④に記載されているとおりに記入する	○	○
② 履歴書（第2号様式）	○	○
③ 応募承諾書（第3号様式） - お勤めをしている人のみ（学校に在学中、自営業などは提出不要）	▲	▲
④ 住民票の写し（本人のみ） - 個人番号と住民票コード以外の情報はすべての記載があること - 発行から3か月以内で、記載内容に変更がないこと	○	○
⑤ 最終卒業校の成績証明書（未開封）	○	○
⑥ 高等学校の成績証明書（英文－未開封） - 「大学入学資格検定」や「高等学校卒業資格認定試験」なら「合格成績 証明書（英文－未開封）」	○	×
⑦ 高等学校の卒業証明書（英文－未開封） - 「大学入学資格検定」や「高等学校卒業資格認定試験」は「合格証明書 （英文－未開封）」	○	×
⑧ 英語の資格の証明書の原本（英文） - これから英語の資格を取得予定の方は「仮受付」のため、証明書の代わ りに提出していただく書類があります	○	○
⑨ 作文「なぜアメリカの大学で学びたいか」 - Why I want to study at an American College - A4用紙 - 日本語・英語で同内容のもの	○	○

「○」印は提出、「▲」印は該当者のみ提出、「×」印は提出不要。

- ①、②、③は当就学実行委員会備付の用紙に記入して下さい。用紙は佐世保市のホームページからダウンロードできます。（①と②は直筆で記入）。
- ④には個人番号（マイナンバー）と住民票コードの記載は不要です。
- ⑤や⑥は発行可能期間が過ぎていた場合、卒業した高等学校発行の「証明書を発行できない理由書（英文）」を代わりに提出してください。

- ⑧は入学手続きの際に、大学に提出した後は返却されないため、原本が提出できない場合は、それぞれのテスト実施機関が再発行する証明書で代用が可能です。  
※証明書の再発行は有料で、テストの実施機関ごとに再発行の手数料が異なります。
- ⑧をこれから取得する場合、本年度の募集締め切り日（7月4日）までに試験を受験した方は応募の「仮受付」を行い、試験の結果が応募資格を満たした方を本年度の応募の対象とします。（締め切り日以降に試験を受験した方は対象外です。）  
この場合、英語の資格証の代わりに、試験を受験したことが確認できる書類を添付し、募集締め切り日までに応募書類を提出してください。  
※資格証の代わりに添付する書類は「◆仮受付での応募について」（11～12ページ）をご確認ください。
- ⑧ 英検の従来型やS-interview方式で受験する場合、2022年度第1回検定の1次（筆記）の結果が「合格」または「1次免除」の該当者は2次（面接）の結果がでる前でも「仮受付」の対象といたします。
- ⑨は指定の題名で、同内容の作文を日本語と英語の両方で提出してください。当就学実行委員会備付の作文用紙は佐世保市のホームページからダウンロード出来ますが、A4サイズの内紙のページの左上に「題名」、右上に「就学希望者の氏名」が記入されていれば様式に関係なく受け付けます。タイプライターまたはワープロソフトで作成し、印刷したものを提出してください。

提出書類の内、①～⑤、⑨は当就学実行委員会事務局で保管、⑥と⑦と⑧は入学決定後に入学手続きのための書類として大学側に提出します。

## 6. 募集期間

2022年4月18日(月)～2022年7月4日(月)

※郵送での応募は2022年7月4日(月)必着

## 7. 応募書類請求先および提出先

米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会事務局

(佐世保市役所文化国際課内)

〒857-8585

長崎県佐世保市八幡町1番10号

TEL: 0956-24-1111 (内線番号 3266)

E-mail: bunkak@city.sasebo.lg.jp (佐世保市役所文化国際課メールアドレス)

(電話による問い合わせ受付時間 8:30~17:15/土・日・祝日を除く)

## 8. 選考会

米海軍佐世保基地内大学就学候補者選考委員会の委員による日本語での面接。  
2022年8月中旬以降を予定。(募集期間終了後、選考会の日程等は郵便で通知いたします。)

※筆記試験はありません。また、選考会以外での面接等はありません。

## 9. 就学予定者の最終決定

選考会の結果を受け、米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会会長(=長崎県知事)より米海軍佐世保基地内大学へ就学候補者として推薦されます。同大学より入学の許可が下りましたら、当就学実行委員会事務局から結果を本人に郵送で通知いたします。

## 10. 本年度の就学時期

2022年10月下旬からの就学開始予定。

※入学準備コースのブリッジ・プログラムはコースの開始時期はあくまでも予定であり、同大学のプログラム開始の発表をもって同コースは開始されます。

## 11. インターネット環境の準備について

通信制の講座は主にインターネットを介して受講します。そのほか、受講講座の登録手続きや授業料の支払いなど大学の各種手続き、教科書や教材の取得や課題の提出などもインターネットを介して行うため、自宅にインターネット環境が整備されていることが望ましく、大学の授業で用いるGoogleドキュメントや、PDF、

Word 等のファイルが取り扱える端末が必要です。

大学や担当講師との連絡などは電子メールで行うため、電子メールのアドレスも必要ですが、携帯電話会社提供のメールアドレスでは受信できない形式の添付ファイルもあるため、パソコンで利用可能なメールアドレス（プロバイダー提供やフリーのものなど）をご準備ください。

アメリカの教育理念は「自らが学ぶ」ことを重視し、18歳以上は成熟した個人として扱われ、大学は学生が「主体的」に学ぶ場です。アメリカの大学で学ぶということは、授業で知識を得るだけではなく、大学を通してアメリカの社会に触れ、教室やそれ以外の場でも自分で考え、主体的に行動するための「思考力」「判断力」「実行力」などを養うことが含まれています。

そのため、米海軍佐世保基地内大学を通してアメリカの大学に就学する学生もアメリカの大学生として「自己責任の下に、個人で選択の判断が下せる大人」であることが期待されており、人任せにするのではなく、それぞれが独立した個人として、自ら行動する姿勢が求められます。

**米海軍佐世保基地内大学への就学に関する質問は、**

**『米海軍佐世保基地内大学就学実行委員会事務局』までお尋ねください。**

〒857-8585

長崎県佐世保市八幡町1番10号 佐世保市役所文化国際課内

電話：0956-24-1111（内線番号 3266）

E-mail: [bunkak@city.sasebo.lg.jp](mailto:bunkak@city.sasebo.lg.jp)（佐世保市役所文化国際課メールアドレス）

【電話による問い合わせ受付時間：8：30～17：15（土日祝日を除く）】

※メールでの問い合わせは、メールの件名には「基地内大学情報提供希望」と記入し、本文には①「氏名（漢字・ローマ字）」、②「住所」、③「就学を希望しているコース」、④「取得済みの英語の資格と取得年、または今後取得を予定している英語の資格」を記入してください。

⑤当事務局からのお知らせメールが受信できるようにメールアプリやセキュリティの設定を調整してください。

## 補足資料① 英語の資格に関する説明

### TOEFL iBT - Test of English as a foreign language, Internet-Based Testing

アメリカの非営利テスト開発機関“Educational Testing Service (ETS)”が開発した英語が母国でない人の英語能力を判定するためのテストで、コンピュータを使い受験しますが、このテストは現在、下記の3つの方法で実施されています。

- ◆ 「TOEFL iBTテスト」 - テストセンターで受験
- ◆ 「TOEFL iBT Home Edition」 - 自宅で受験
- ◆ 「TOEFL iBTペーパー版テスト」 - (注)日本では未実施)

この3つの内、テストセンターで受験する「TOEFL iBTテスト」は月に数回、九州・沖縄地区では土曜日または日曜日に福岡、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄のいずれかのテストセンターで実施されており、自宅受験の「TOEFL iBT Home Edition」は使用機器・受験環境の要件を満たしていれば、週に4日、24時間受験が可能です。

テストの詳細はTOEFLテスト日本事務局 (ETS Japan) のページ (<https://www.toefl-ibt.jp/>) で、通常版TOEFL iBTの試験会場はプロメトリックのホームページ (<http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/schedule.html>) でご確認ください。

※ 「TOEFL iBTペーパー版テスト」は、Reading、Listening、Writingはテストセンターで紙面のテスト形式、Speakingは自宅のコンピュータを使用しオンラインでそれぞれ受験しますが、日本での実施は未定です。

### TOEFL ITP (Institutional Testing Program)テスト®

TOEFL iBTテストの作成元であるETSが提供する団体向けTOEFLテストプログラム(模擬試験)で、過去のTOEFLの問題が出題されるため、公式な効力はありませんが、世界中の教育機関で受験者の学術的な英語力をはかるために利用されており、メリーランド大学では入学準備コースのブリッジ・プログラムに限り、この試験のスコアでも応募を受け付けています。

試験は「LEVEL 1 - TOEFL (140問)」と「LEVEL 2 - Pre-TOEFL (95問)」の2種類で、応募の対象は「LEVEL 1」です。



## IELTS - International English Language Testing System

イギリスのUniversity of Cambridge ESOL Examinations、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education Australia : IELTS Australia が共同で管理・運営する英語能力認定テスト。受験対象は16歳以上。日本では公益財団法人日本英語検定協会が共同運営をしています。

「アカデミック・モジュール (Academic Module)」、「ジェネラル・トレーニング・モジュール (General Training Module)」、英国ビザ申請用の「IELTS for UK Visas and Immigration」と「IELTS Life Skill」の4種類がありますが、応募の対象はアカデミック・モジュールのみで、九州地区では福岡と熊本で受験可能です。

テストの詳細は公益財団法人日本英語検定協会のホームページ (<http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html>)、やブリティッシュ・カウンシル・ジャパンのホームページ(<http://www.britishcouncil.org/jp/japan.html>)でご確認ください。

### 英検 (実用英語技能検定)

公益財団法人日本英語検定協会の「実用英語技能検定」のことで、1級から5級までに分かれており、試験の結果は合否で判定されます。応募には入学準備コース（ブリッジ・プログラム）は2級以上、正規入学コースは準1級以上の資格が必要です。  
②そのほかの英検という名称がついている試験は応募条件の対象ではありません。

試験は下記の3種類の方式で、いずれも試験会場で実施されています。

#### ● 従来型 (実施級 - 1級から5級)

試験日が1次（筆記 - リーディング・ライティング・リスニング）と2次（面接 - スピーキング）の2日に分かれ、1次に合格した人だけが2次を後日受験します。

#### ● S-CBT (実施級 - 準1級から3級)

パソコン利用で4技能（スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング）を1日で受験します。

質問や問題はパソコンの画面上に表示され、その解答はスピーキングがパソコンへの吹き込み式、リスニングとリーディングはマウス操作での解答、ライティングは

「解答用紙に手書きで解答する」または「キーボードでタイピングして解答を入力する」のどちらの方法で解答するかを受験申込時に選択します。

## ● S - interview (実施級 - 1級から3級)

「S - CBT」方式では受験が難しい方や受験上の配慮が必要な方向けで、「従来型」と同様に試験日は1次(筆記)と2次(面接)を2日に分けての実施ですが、1次の結果にかかわらず全員が2次を受験します。

それぞれのテストの詳細は、英検のホームページ(<http://www.eiken.or.jp/>)でご確認ください。

## duolingo english test

アメリカで開発された言語教育プラットフォーム「duolingo」提供のオンラインで受験をする英語力測定テストで、受験者ごとに問題の難易度が変わる適応型のテストです。所要時間は約1時間。スコアは10~160のスケールで、48時間以内に結果が認定されます。

総合スコアのほかに、特定の分野の習熟度がサブスコアとして「Literacy(読んで書く能力)」、「Comprehension(聞いて読む能力)」、「Conversation(話して聞く能力)」、「Production(書いて話す能力)」で測られます。インターネットに接続できるパソコンがあり、それ以外の受験に必要な条件を満たしていれば、いつでも受験が可能です。  
(ただし、1回受験すると次の受験までは30日の間隔を空ける必要があります。)

詳細はduolingo english Testのホームページ(<https://englishtest.duolingo.com/>)でご確認ください。

## TOEIC® - Test of English for International Communication

一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施する「国際コミュニケーション英語能力テスト」で、応募には長崎県内に試験会場がある「TOEIC® Listening & Reading Test」のスコアだけでなく、九州地区では福岡に試験会場がある「TOEIC® Speaking & Writing Tests」のスコアも必要です。

それぞれのテストの詳細は一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会のホームページ(<https://www.iibc-global.org/toeic.html>)でご確認ください。

※上記以外の「TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests」、「TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests」や団体受験の「TOEIC® Program IP (Institutional Program) テスト」で受験をされたスコアでは応募できません。

◆仮受付での応募について

英語の資格を未取得で、本年度の応募受付期間内（7月4日まで）に実施される英語資格の試験を受験する方は、「仮受付」で応募の受付を行い、その後、試験結果が英語の資格の条件を満たした場合、本年度の選考の対象といたします。（試験の結果が条件を満たさなければ「仮受付」は取り消しとなります。）

「仮受付」の手続きでは、英語の資格証の代わりとなる書類をそのほかの応募書類と一緒に募集締め切り日（7月4日（月））までに提出し、試験の結果の発表が応募締め切り日以降なら、試験結果が分かり次第、速やかに、当就学実行委員会事務局まで必ずお知らせください。

※英語の資格証の代わりに応募書類に添付していただく書類は、以下の「★」印の内のいずれか1つです。

【TOEFL iBT】

試験の結果が7月4日の締め切り日前に	
出ている	★公式スコアレポート ★スコアレポートのPDF版コピーをご自身のアカウントからダウンロードして印刷（※公式スコアレポート未着の場合）
出していない	★オンラインまたはTOEFL公式アプリのアカウントで受験が確認できる画面を印刷（※本人の氏名が確認できるもの）

【IELTS】

試験の結果が7月4日の締め切り日前に	
出ている	★公式のスコアレポート ★IELTSのマイページで確認できるスコアを印刷（※公式スコアレポート未着の場合）
出っていない	★IELTSのマイページでダウンロードした受験確認書など受験が確認できる書類を印刷（※本人の氏名が確認できるもの）

【英検】 受験する方式により提出する書類が異なります

◆従来型 - 2次を7月3日（日）、7月10日（日）、7月17日（日）のいずれかで受験

2022年度第1回検定を受験（1次免除の申請済みの方を含む）

1次の結果が「合格」または1次免除 ★1次試験合格が確認できる書類

◆S-interview方式 - 7月3日（日）に「Speaking」を受験

2022年度第1回検定を受験 ★6月5日実施の1次試験の受験票のコピー

◆S-CBT方式

試験の結果が7月4日の締め切り日前に	
出ている	★合格証書 ★S-CBT申込受付サイトで合格を確認できるページを印刷（※公式スコアレポート未着の場合）
出していない	S-CBT申込受付サイトで、 ★印刷した受験票のコピー ★受験が確認できる画面を印刷（※本人の氏名が確認できるもの）

※英検の2022年度第1回検定は「2022年4月から7月」の内、の間に実施される試験の事です。

※英検の従来型の場合、応募締め切り日までに1次試験の成績表が未着なら、英検のウェブサイトの合否閲覧サービスでご自身の氏名と一次試験の結果、または一次免除であることを確認できる画面を印刷して添付してください。

- 7月4日（月）の応募締め切り日以降に試験の結果が出る方は、「7月27日（水）」までに試験の結果を当就学実行委員会事務局まで必ずお知らせください。資格の確認が取れた方に本年度の選考対象として「選考会」の案内をお知らせします。
- それぞれのテスト機関発行の公式な英語の資格の証明書は、当就学実行委員会事務局で実施する「選考会」までに提出していただきますが、選考会当日までに間に合わない場合は、条件を満たしていることが確認できる書類（応募者本人の氏名と試験の結果が確認できる画面を印刷したものなど）を当就学実行委員会事務局へご提出ください。

## 補足資料② プログラムやコースに関する説明

### ブリッジ・プログラム（入学準備コース）

母国語が英語以外の方が対象のプログラムです。アメリカの大学で授業を受ける上で必要な英語力（読解、作文、英文法やコミュニケーション力など）を身に付けるため、5つの必須講座と1つのオプション講座の6つ講座で構成されています。

	学期	講座番号	講座名	単位数
必須	第1学期	UMEI 030	Basic Interpersonal Communication Skills Course 対人コミュニケーションスキル	3
	第2学期	UMEI 020	Integrated Skills for College Literacy カレッジリテラシーの総合スキル	
	第3学期	EDCP 102	Integrated Skills for Academic Success 学術的成功のための総合スキル	3
	第4学期	EDCP 111X	Academic Writing I 学術的ライティング I	
	第5学期	WRTG 112X	Academic Writing II 学術的ライティング 2	3
オプション	第6学期	SPCH 100X	Foundations of Speech Communication スピーチコミュニケーションの基礎	

第5学期までの5つの必須講座を最初から順番に“C”以上の評価で修了すると修了証が大学から授与され、第6学期のオプション講座の受講の有無や英語の資格に関係なく、正規入学コースの学部課程に進めます（修士課程に進むには正規入学のための条件を満たす英語の資格の提出が求められます）。

- 通学制と通信制の2つの形式があり、どちらか1つを単願で応募する場合は願書の希望する課程やプログラムを記入する欄に、どちらの形式で受講しても良い場合は両方の欄に丸印を入れてください。

⑨ プログラム開始後は、個人の都合で受講の形式を変更できません。

⑩ 2020年春より、コロナウィルス感染防止のため「Zoomアプリ」を用いた通信制で授業が実施されています。2022度も、感染症防止の対応の状況次第では、通学制も「Zoomアプリ」を用いた通信制で引き続き実施される可能性があります。（ただし、状況により、プログラムの途中から通学制に戻ることもあります。）

- 講座を受講する順番の入れ替えや途中の講座を飛ばして先に進むことはできません。
- 必須の5講座を連続して受講できなかった場合、最初からやり直す必要はなく、翌年以降に残りの講座を受講して“C”以上の評価で修了すれば同大学の正規入学コースの

学部課程に進めます。

- 受講する講座はすべて指定されていますが、登録手続きは1講座(1学期)ずつです。
- 1講座(1学期)の長さは8週間で、授業は週2回の合計16回です。
- 授業開始は夕方以降(19時前後)に始まり、1回の授業は約3時間の予定です。
- 無断欠席は成績評価の減点対象で、欠席する時は事前に担当講師に連絡してください。
- 日本国内外を問わず、ほかの大学で準学士や学士の学位を取得済みの人や、プログラムの途中でほかの大学で準学士や学士の学位を取得した人はプログラム終了後に「Second Associate's Degree - 第2準学士号 / Second Bachelor's Degree - 第2学士号」の制度が利用できます。
- プログラムの途中で正規入学の条件を満たす英語の資格を取得した場合は、その時点から正規入学コースへの編入申請ができ、正規入学コースに編入後でも残りの講座を受講することは可能です。
- このプログラムで取得する単位の内、第1学期と第2学期の講座の単位は正規入学コースの単位には組み込めません。
- 正規入学コースの就学生も、このプログラムの講座が受講可能で、その場合は全部の講座を受講する必要はなく、希望の講座だけを選んで受講できます。
- このプログラムはどちらの形式でも実施のための最少実施人数(9名)の定めがあり、この数に満たなければ講座は開講されません。「通学制」は米海軍佐世保基地で実施される授業に通学する方が対象ですが、「通信制」はアジア地区が対象であり、佐世保以外の地域から受講される方も含まれます。
- このコースは、開始時期や講座実施時期や授業のスケジュールが変更や延期される場合があります。

## 正規入学コース - 学部課程 (準学士・学士)

アジア地区で履修可能な専攻学科

準学士 (60単位以上)	
文系準学士 - Associate of Arts (A.A.)	
専攻	General Curriculum (一般教養)                      Management Studies (マネジメント学)
	Accounting (会計学)    Mathematics (数学)
	Business and Management (経営学)                      Psychology (心理学)
	Computer Studies (コンピュータ学)
	Foreign Language Area Studies - Japanese (外国語-日本語=日本人は履修不可)
	Foreign Language Area Studies - Korean (外国語 - 韓国語)

学士 (120単位以上)	
文系学士 - Bachelor of Arts (B. A.)	
専攻	Communication Studies (コミュニケーション学) English (英語学) East Asian Studies (東アジア学) History (歴史学) General Studies (一般教養) Humanities (人文科学)
理系学士 - Bachelor of Science (B. S.)	
専攻	Accounting (会計学) Management Studies (経営学) Business Administration (経営管理学) Marketing (マーケティング学) Computer Science (コンピュータ学) Political Science (政治学) Criminal Justice (刑事司法学) Psychology (心理学) Homeland Security (国土安全保障) Social Science (社会科学) Human Resource Management (人材管理学) Computer Networks and Cybersecurity (コンピュータネットワークおよびサイバー・セキュリティ) Cybersecurity Management and Policy (サイバー・セキュリティ管理) Information Systems Management (情報システム管理学) など
※学士には文系理系を問わず、上記の専攻以外に「副専攻」があります。 ※アジア地区にない専攻でも通信制で履修可能なものがあります。詳細は、アメリカ本部地区のホームページ ( <a href="https://www.umgc.edu/academic-programs/bachelors-degrees/index.cfm">https://www.umgc.edu/academic-programs/bachelors-degrees/index.cfm</a> ) でご確認ください。	

- 年間5学期制で、1学期(1講座)の長さは8週間です。
- この課程は殆どの講座が3単位ですが、単位数が異なるものが一部あります。
- 在学年数に区切りがなく、途中で休学を取ることやどの学期からでも復学が可能です。(ただし、2年以上講座の登録をしていなければ、復学前に再登録の手続きが必要です。)
- 講座の登録は1学期ずつ、授業料もそれぞれの学期で支払います。
- ほとんどの講座が在宅の通信制で受講可能ですが、一部は日本国内にあるほかの米軍基地で開講されている授業を佐世保の教室に配信して実施される通学制の講座(=Hybrid Class)があります。
- 通学制の講座の開始時刻は、早いものは17時前後に始まります。
- 一般教養に該当する全学生共通の必須講座以外では、専攻ごとに受講する講座は違います。
- 学位取得のための専攻以外に「Certificates Program (修了証プログラム-18単位)」があります。
- 国や地域を問わず、既得の学位(準学士や学士)を取得した際の単位を組み込むことで、こちらの大学で学位を取得するための第2準学士(Second Associate's Degree)や第2学士(Second Bachelor's Degree)の制度が設けられています。
- 学部課程の詳細は、<https://asia.umgc.edu/academic-programs/index.cfm> でご確認ください。

## 正規入学コース－大学院課程（修士－MBA）

- 佐世保で就学可能な専攻は「Master of Business Administration（MBA）」で、全ての講座を通信制で順番通り受講します。
- 直接アメリカ本部に就学生として登録した場合、「アメリカ国外からの学生」扱いとなり、米海軍佐世保基地内大学を通じた場合とは授業料が異なるため、就学の手続きをする場合は、まず初めに同大学の佐世保事務所の担当者に必ず相談をしてください。
- 大学院課程（修士）の詳細は、<https://asia.umgc.edu/academic-programs/masters-degrees/index.cfm> でご確認ください。